

平成30年度施政方針

- 赤崎地区公民館を平成30年度内に整備
- 文化活動などを通じた新たな地域コミュニティにおける融和と強調の促進
- 小・中学校の規模および配置の適正化を推進
- 国際化の進展に対応した外国語教育機材の導入
- 既存体育施設の適切な維持管理・機能充実に努めつつ、今後のスポーツ振興のあり方を検討
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック復興「ありがとう」ホストタウン登録を受けた、国際理解に関する講座などの開設
- 吉浜のスネカを含む「来訪神行事・仮面・仮装の神々」のユネスコ無形文化遺産登録を想定した情報発信・記念事業などの取り組み



土地区画整理事業が進む大船渡駅周辺地区

- 被災跡地土地利用計画の策定および具現化に向けた取り組み
- 大船渡駅周辺地区における土地区画整理事業の推進と用地活用の促進
- 応急仮設住宅入居者の生活再建と恒久住宅居住への速やかな移行を支援
- (仮称)空き家バンク利用促進奨励金制度を創設
- ILCでの利活用を見据え、永浜・山口地区ふ頭用地、工業用地などの早期整備を国・県に強く働きかけ
- 三陸沿岸道路全線の早期完成、国道107号の幹線横断道路にふさわしい改良整備の事業化、国道397号、343号、主要地方道大船渡広田陸前高田線・船河原工区および大船渡綾里三陸線・赤崎工区の整備などを国・県に強く働きかけ
- 中赤崎地区道路新設改良事業、滝の沢線および小通線道路改良事業など市道の新設・改良整備を推進
- JR大船渡線BRTの利便性向上について、東日本旅客鉄道株式会社と協議
- 平成31年に盛駅から久慈駅までが一本で結ばれる三陸鉄道リアス線の利用を促進通に係る実証実験運行を引き続き実施
- 第4浄水場施設の整備、第1浄水場ろ過池の改良などを推進
- 三陸町越喜来浦浜地区および日頃市町小通地区におけるテレビ共同受信施設の改修を支援



ILC実現に向け取り組みを強化

- 「減災」の考え方に基づく多重防災型の津波対策を推進
- 防潮堤の早期完成を県に強く働きかけ
- 津波避難計画の策定および津波避難マップの作成
- 防災関連道路として猿石線道路改良事業、市役所庁舎前線道路新設事業などを推進
- 被災・老朽化した消防屯所の新築や消防自動車などの計画的な更新
- 消費生活センターにおける市民への的確な情報提供と相談体制の充実
- 「減災」の考え方に基づく多重防災型の津波対策を推進
- 防潮堤の早期完成を県に強く働きかけ
- 津波避難計画の策定および津波避難マップの作成
- 防災関連道路として猿石線道路改良事業、市役所庁舎前線道路新設事業などを推進
- 被災・老朽化した消防屯所の新築や消防自動車などの計画的な更新
- 消費生活センターにおける市民への的確な情報提供と相談体制の充実

- 市営の業務のCO₂削減に向けた率先行動の強化
- 住宅用太陽光発電システム設置への助成および再生可能エネルギーを活用した民間発電事業への支援
- 地区経営および地域づくりに関する窓口機能を一本化した市民協働準備室を新設
- 女性や若者などを積極的に登用し、多様な意見・提言を市政運営に反映
- 市民活動支援センターを通じた、市民活動や助成制度に関する積極的な情報提供
- 地方公会計に基づく財務書類の公表と下水道事業および簡易水道事業への地方公営企業法適用に向けた取り組み
- 公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定と具現化
- 陸前高田市および住田町との連携・交流の推進に向け、関連制度の活用などを検討

平成30年度施政方針

平成30年2月16日から3月15日まで、平成30年市議会第1回定例会が開かれました。初日の本会議の冒頭に行われた平成30年度施政方針演述の中で戸田公明市長は、「平成30年度は、『復興の総仕上げ』と『地方創生』に係る施策を並行かつ連動させながら、地域振興のシーズ・種を積極的に見出し、さらには成長へと誘う、市政発展の新たな起点になる年」として、市民の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、「ともに創る 三陸の地に輝き躍動するまち 大船渡」の実現に向け、積極果敢に取り組むと述べました。

以下、施政方針演述の中から、平成30年度の主な取り組みについて、大船渡市総合計画の大綱別にお知らせします。

1 豊かな市民生活を 実現する産業の振興

- 「ILCと共生するまちづくりビジョン」、「大船渡港の活用等プラン」の策定など、国際リニアコライダー（ILC）の実現に向けた取り組みを強化
- 産業振興人材育成セミナーなどを通じ、起業や第二創業、事業拡大など新たな事業展開の促進を支援
- ふるさとテレワークセンターの機能拡充や、ITを活用して地域課題の解決を図る「ふるさとテレワーク普及促進・地場産業連携促進事業」を引き続き実施
- 東京都内の大船渡ふるさと交流センターにおいて、交流と移住の促進を図る事業を展開
- サケ資源の減少に対応した増殖事業への支援
- 2漁港での災害復旧工事、1漁港での用地かさ上げなど、水産生産基盤の復旧を引き続き推進
- 「意欲ある浜の担い手支援制度」の創設など、水産業の担い手育成・確保策の推進
- 地域農業マスタープランの定期的な見直しなど、農地の効率的な利用を地域と一体となつて検討
- 防護網・電気柵の普及、有害捕獲の実施などによる鳥獣被害対策の推進
- 間伐した木材を合板などの原料として供給する合板・製材生産性強化対策事業を推進
- 大船渡駅周辺地区でエリアマネジメントに取り組み、広域的な商業・観光拠点としてにぎわいを創出
- 北里大学、立命館大学、明治大学、岩手大学および岩手県立大学との連携強化
- 綾里海水浴場の平成31年度再開に向け、トイレ・シャワー室復旧工事の実施設計に着手
- クラウドファンディング型ふるさと納税の寄附金を活用した五葉山・石楠花荘の改築
- 三陸を支える地域づくり団体や人材の育成、交流の促進などを旨とする(仮称)三陸ぐるっと食堂in大船渡の開業を支援
- 外国人観光客に対応するため、外国青年招致事業を活用



担い手育成など水産業の振興を推進

- 市内事業所に就職した新規卒業者やU・I・Jターン者へ奨励金を交付
- ワーク・ライフ・バランスの実動に向け、関係機関・団体との連携を強化
- 被災された方々に対する心身のケアや状況に応じた生活再建を支援
- 市民一人ひとりが協力して暮らせる地域社会づくりを

2 安心が確保された まちづくりの推進

- 吉浜地区放課後児童クラブの専用施設を整備
- ファミリー・サポート・センター事業、保育料の第3子以降完全無料化、出産祝金支給事業、子育て用品無償貸与事業などにより、子育てを積極的に支援
- マイナンバーを活用した電子申請「子育てワンストップサービス」を実施
- 未来かなえネットの加入者拡大を支援し、医療と介護など関連分野の連携を推進
- 第7期介護保険事業計画に基づいた施設の整備および目指し、男女共同参画社会の具現化を推進
- 大船渡市結婚相談・支援センターを中心に多様な出会いの場を創出
- 新生児聴覚検査費用の助成、1歳児歯科健康相談、子どもに関して医師に相談できる「小児科オンライン」を新たに実施
- 乳幼児から中学校3年生までの児童・生徒、妊産婦およびひとり親家庭を対象とする医療費助成を引き続き実施
- 赤崎保育園の移転改築を支援

7 自立した 行政経営の確立